令和６年（2024 年）の八幡平の火山活動

仙　台　管　区　気　象　台
地域火山監視・警報センター

GNSS 連続観測では 2020 年中頃から八幡平・秋田焼山を挟む基線でわずかな伸びの変化が継続しており、広域地震観測網では八幡平東部の茶臼岳周辺でややまとまった地震活動がみられています。

○ 噴火警報・予報の状況、2024 年の発表履歴

2024 年中変更なし	噴火予報（活火山であることに留意）

○ 2024 年の活動概況

・噴気など表面現象の状況（図１～３）

３月に陸上自衛隊東北方面隊の協力により実施した上空からの観測では、前回の観測と比較してよんご沼南でみられる噴気や地熱域の状況に特段の異常は認められませんでした。また、八幡平山頂付近の八幡沼周辺に噴気や地熱域は認められませんでした。

・広域地震観測網による地震の発生状況（図４、図５）

八幡平東部の茶臼岳周辺でややまとまった地震活動がみられています。

・地殻変動の状況

GNSS 連続観測で認められている 2020 年中頃からの八幡平（及び秋田焼山）を挟む基線の伸びの変化は、2022 年終わり頃からやや鈍化しつつも継続しています（令和６年（2024 年）の秋田焼山の火山活動参照）。

この資料は気象庁ホームページで閲覧することができます。
https://www.data.jma.go.jp/vois/data/report/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php
資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。
https://www.jma.go.jp/jma/kishou/know/kazan/kazanyougo/mokuji.html
この資料は気象庁のほか、東北大学、国立研究開発法人防災科学技術研究所、及び公益財団法人地震予知総合研究振興会のデータも利用して作成しています。
本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院発行の「数値地図50ｍメッシュ（標高）」及び「電子地形図（タイル）」を使用しています。

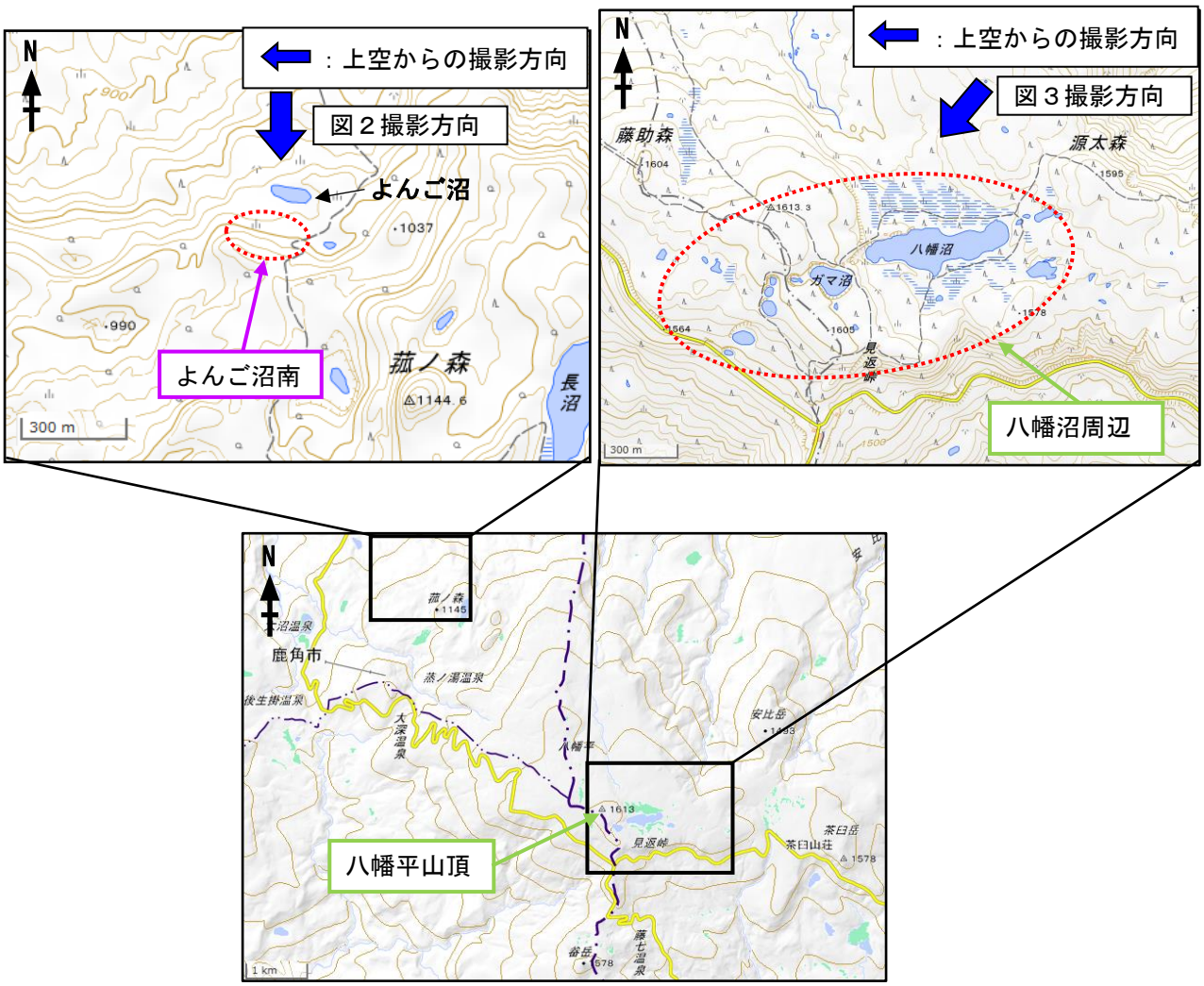


図１　八幡平　写真と地表面温度分布の撮影対象及び上空からの撮影方向

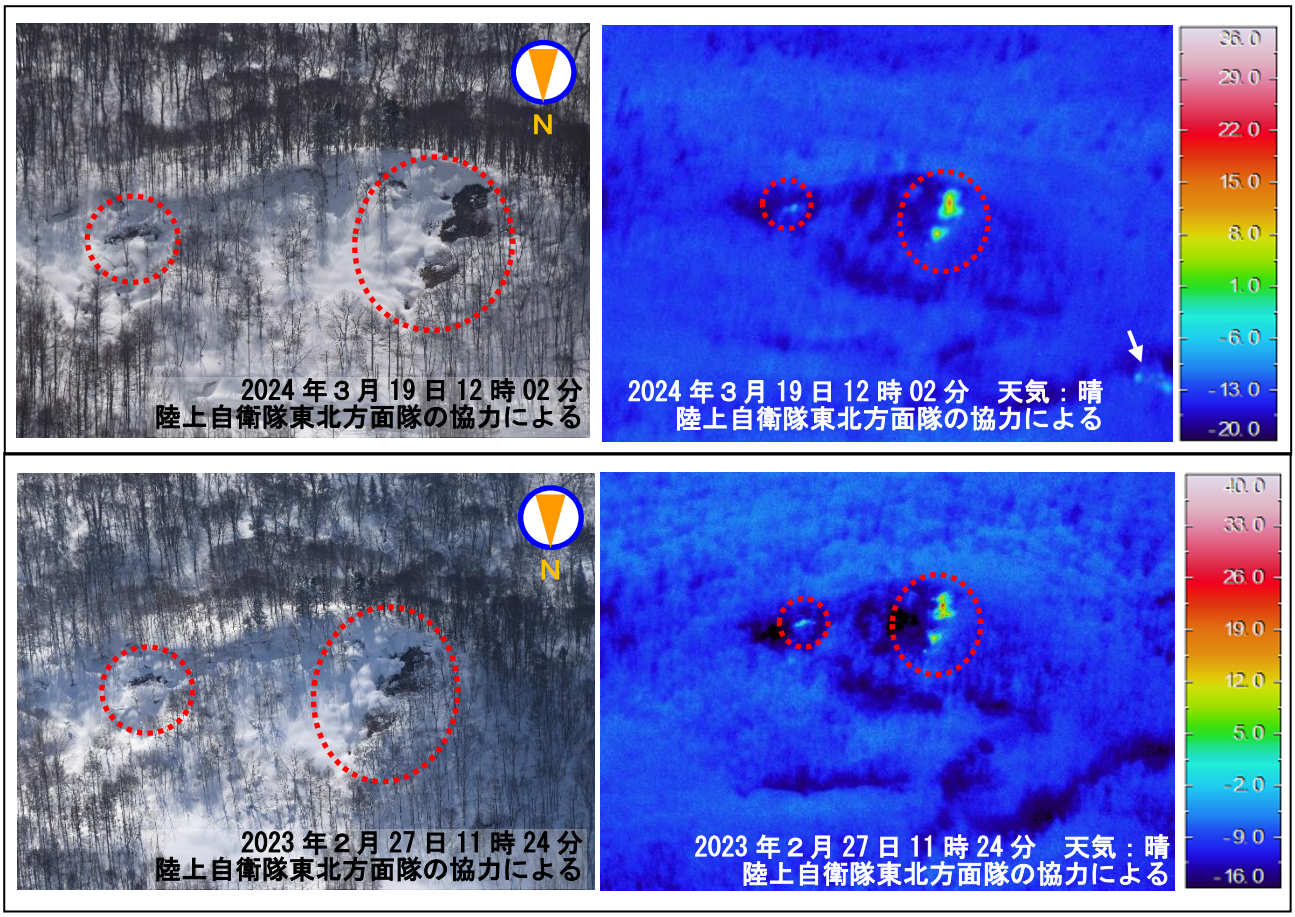
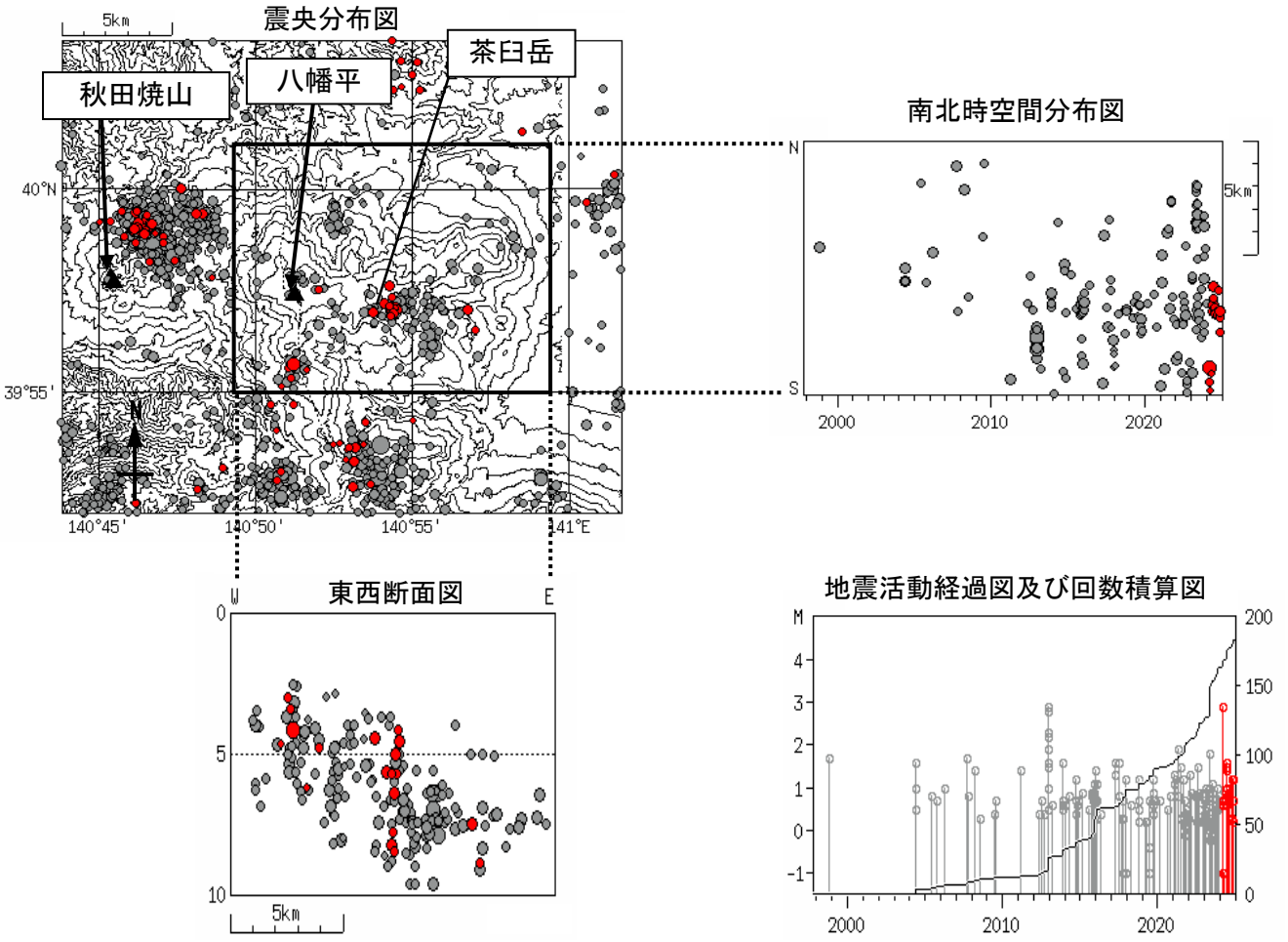


図２　八幡平　上空から撮影したよんご沼南噴気の状況と地表面温度分布
※日射の影響により、建築物（矢印）では表面温度が高めに表示されています。

昨年の観測と比較して特段の変化は認められませんでした。

図３　八幡平　上空から撮影した八幡沼周辺の状況と地表面温度分布
※日射の影響により、建築物（矢印）では表面温度が高めに表示されています。

八幡沼周辺に噴気や地熱域は認められませんでした。



●：2024 年 1 月 1 日～12 月 31 日　●：1997 年 10 月 1 日～2023 年 12 月 31 日

図４　八幡平　広域地震観測網による地震活動（1997 年 10 月～2024 年 12 月）

・2001 年 10 月以降、検知能力が向上しています。

八幡平東部の茶臼岳周辺でややまとまった地震活動がみられています。

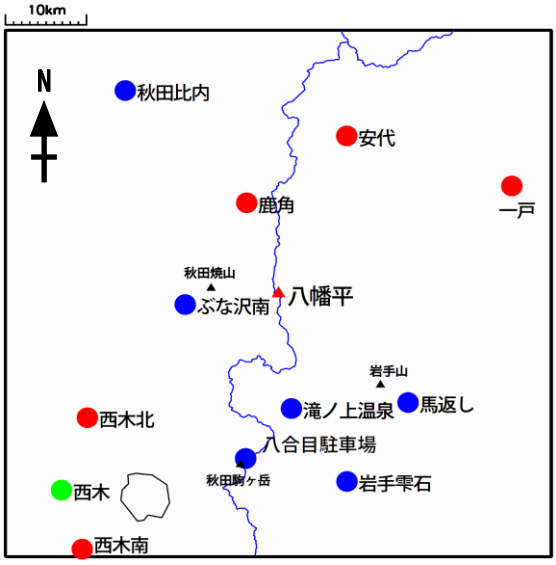


図５　八幡平周辺の地震観測点

青丸（●）は気象庁、緑丸（●）は東北大学、赤丸（●）は防災科学技術研究所の観測点位置を示しています。